

## 安全保障理事会議長声明

「ソマリア情勢」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2009年5月15日に開催された安全保障理事会第6125回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を發した。

安全保障理事会は、ソマリアにおける紛争の恒久的解決のための基礎を表しているジブチ和平協定を再確認しているソマリアに関する安保理の従前の諸決議および議長諸声明、とりわけ安保理決議1863をくり返し表明し、

安全保障理事会は、暫定連邦憲章の下でのソマリアにおける合法的な権力機関としての暫定連邦政府に対する安保理の支援を再確認し、アル・シャバブおよび他の過激主義者が主導した、力でその合法的な権力機関を排除する試みとなる戦いの最近の再開を非難する。安保理は、対立する集団が直ちに攻撃を止め、武器を捨て、暴力を否定し和解の取組に加わることを要求する。

安全保障理事会は、国際的なコミュニティに対して、国家治安軍およびソマリア警察軍を強化するため暫定連邦政府にその十分な支援を提供することを促し、AMISOM に対するその支援をくり返し表明し、ブルンジおよびウガンダ両政府による部隊の拠出に対して安保理の感謝の意を表明し、また AMISOM に対するいかなる戦闘行為を非難する。

安全保障理事会は、再開された戦いから生じる生命の損失および人道状況がより悪化していることにその懸念を表明し、全ての当事者に対し、国際人道法の下での、とりわけ一般国民、人道活動従事者および AMISOM 要員の安全を尊重するためのその義務を守ることを求める。

安全保障理事会は、エリトリアが国連武器禁輸措置に違反してソマリアの暫定連邦政府に対立するものに武器を供給したという報告に関して ~~また~~ その懸念をまた表明し、制裁監視グループに対し調査を求める。

安全保障理事会は、ソマリアにおける恒久的な政治的解決に達するための枠組を提供している暫定連邦憲章に定められた政治的プロセスに対する安保理の支援をくり返し表明する。現在進行中の力で権力を得るための試みは、政治的プロセスを遅らせソマリア国民の苦しみを長引かせることしかできない。